https://ryuo-es.com

空は さみどり

学校だより　第3号
竜王町立 竜王小学校
令和3年6月1日

竜王チャレンジタイム！

学校HP

今年は例年に比べて梅雨入りが２０日以上も早くなったとかで、雨が多い日が続いています。でも、みなさんはそんな雨の中を毎日元気に登校してくれてたいへんうれしいです。

さて、今月の学校だより「空はさみどり」では、お家の方にみなさんが毎朝がんばっている「竜王チャレンジタイム」（通称「竜チャレ」）のお話しをします。みなさんも毎朝取り組んでいる「竜チャレ」のことを、この学校だよりとともにお家の方へお話しをしてくださいね。

音読のようす

わたしたちの竜王小学校の朝は、「竜王チャレンジタイム」の15分間からスタートします。（読書タイムに取り組む木曜日は除きます。）

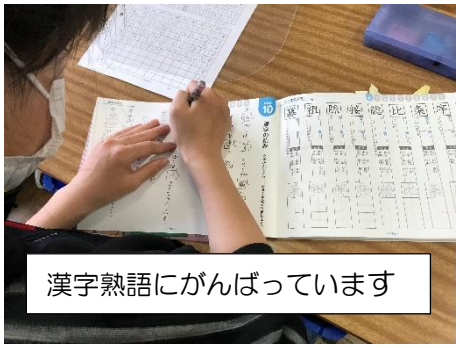
「竜チャレ」は、まず音読から始まります。４月から５月の中頃までは、各学年で一年間勉強する漢字熟語を「リズム漢字」として読みあげました。音読は有名な詩や漢詩、古典、百人一首などにも取り組み、多くの子どもたちが暗唱できるまでに成長します。

音読に続いて、次のチャレンジは１００ます計算です。「サン、ニ、イチ、用意はじめ！」音読とは逆に教室は静けさに包まれ、聞こえてくるのはカリカリと鉛筆の音だけ。「はい！」真っ先に手をあげたのは、Ａさん。時間は１分を切っています。その後、次々と手があがります。教員は手にしたストップウオッチの時間を読み上げていきます。5分で、「はい終了！」高学年ともなるとほとんどの子どもたちが１００マスをやり終えています。中には１００マスを４つ完成した子どももいます。１００マス計算は、足し算や引き算、かけ算に加えて、あまりのある割り算まで計画的に実施します。子どもたちの計算力はどんどん向上していきます。

１００ます計算

最後は漢字ドリルにチャレンジ。１日１２問（高学年）の漢字熟語をこなしていきます。約２ヶ月で学年の漢字をやり終えてしまいます。これを年間通してやり抜くことで漢字の力もぐんぐん伸びていきます。

令和元年度から竜王町教育委員会あげて取り組んでいる「竜チャレ」は、脳を活性化させ、徹底反復により、基礎学力を習得させようという取組です。この「竜チャレ」の取組を学力向上策の基盤として、全校一丸となって共通実践しています。また、生徒指導面においても子どもたちに


漢字熟語にがんばっています

集中力が身につき、学習に対する前向きな姿勢が見え始めています。

加えて、県や町の教育委員会から支援もあり、小学３年生から算数科において習熟度別の少人数指導体制を実施することができ、学力向上にかかる相乗的効果を上げています。

「竜チャレ」は、たった１５分間の取組ですが、継続させて成果を積み上げていきたいと考えています。

蔵口さん、たんぽぽさん

心の教育推進事業顕彰受賞

たんぽぽさんの読み聞かせ

一般社団法人滋賀県教育会では、地域や学校園において、心の教育にかかわる事業や活動を積極的に行い、その業績が顕著な個人または団体を顕彰し、心の教育の一層の推進を図っておられます。

そこで、わたしたちの竜王小学校では、毎朝校門前横断歩道で子どもたちの交通安全についてご奉仕いただいている蔵口きよ江さんと木曜日の朝の読書タイムにｃ低学年を対象に読み聞かせをしていただいている「おはなし会たんぽぽ」さんを心の教育推進事業に推薦したところ、その活躍や成果が認められ見事顕彰を受賞されました。

先日、わたしたちの竜王小学校で教育会の会長さんからお二方に表彰状が手渡され、子どもたちにもその様子を校内放送で伝えたところです。

お二方には、これまでから子どもたちのために永年にわたりお世話になりました。これからもどうぞよろしくお願い申しあげ、心から顕彰受賞をお祝いいたします。

蔵口きよ江さん

（保護者の皆様へ）

コロナ禍での学校行事について

日頃は私たちの竜王小学校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、世間では高齢者を中心にワクチン接種が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ終息の目処がたたない状況です。しかしながら、子どもたちの学校での教育活動については、感染症対策を講じながら縮小や時期の変更も視野に入れながら実施の方向で取り組んでいるところです。

つきましては、今後も可能な限り実施するよう検討しておりますので重ねてご理解とご協力についてよろしくお願いいたします。